

# 第1回

## たし算とひき算

### 答え

※①, ②, ④の筆算は「考え方」を見てください。

- ① (1) 499 (2) 867 (3) 7280  
 (4) 302 (5) 125 (6) 722
- ② (1) 505 (2) 159 (3) 293
- ③ (1) 85 (2) 21
- ④ (1) 452 (2) 99 (3) 279
- ⑤ [式]  $1826 + 2195 = 4021$   
 [答え] 4021人
- ⑥ [式]  $600 - 408 = 192$   
 [答え] はるき(さんが) 192(円多い。)

### 考え方

① 同じ位<sup>くらい</sup>どうしを計算します。たし算をして10になったら、上の位に1くり上げます。ひき算ができないときは、上の位から1くり下げます。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 157 \\ + 342 \\ \hline 499 \end{array} \quad \begin{array}{r} (2) \quad 628 \\ + 239 \\ \hline 867 \end{array} \quad \begin{array}{r} (3) \quad 2315 \\ + 4965 \\ \hline 7280 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 816 \\ - 514 \\ \hline 302 \end{array} \quad \begin{array}{r} (5) \quad 734 \\ - 609 \\ \hline 125 \end{array} \quad \begin{array}{r} (6) \quad 9203 \\ - 8481 \\ \hline 722 \end{array}$$

② 位をそろえて書きます。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 39 \\ + 466 \\ \hline 505 \end{array} \quad \begin{array}{r} (2) \quad 200 \\ - 41 \\ \hline 159 \end{array} \quad \begin{array}{r} (3) \quad 300 \\ - 7 \\ \hline 293 \end{array}$$

③ 数を分けて考えます。

- (1) 58を、3と55に分けてたします。  
 $27 + 58 = 27 + 3 + 55 = 30 + 55 = 85$
- (2) 29を、20と9に分けてひきます。  
 $50 - 29 = 50 - 20 - 9 = 30 - 9 = 21$

④ 筆算にどのようなまちがいがあるのかを考えながら、正しい筆算を書きましょう。

(1) 位がそろっていないので、位をたてにそろえてから計算します。

$$\begin{array}{r} 421 \\ + 31 \\ \hline 452 \end{array}$$

(2) 一の位に1くり下げたので、十の位の計算は、百の位から1くり下げて、 $12 - 3 = 9$ となります。

$$\begin{array}{r} 42 \\ 538 \\ - 439 \\ \hline 99 \end{array}$$

(3) 百の位から十の位に1くり下げ、十の位から一の位に1くり下げます。十の位の計算は、 $9 - 2 = 7$ となります。

$$\begin{array}{r} 590 \\ 607 \\ - 328 \\ \hline 279 \end{array}$$

⑤ 昨日の入場者数 + 今日の入場者数 = 合わせた入場者数  
 でもとめられるから、  
 $1826 + 2195 = 4021$  (人)

⑥ 2人がそれぞれ出したお金は同じなので、のこりのお金のちがいは、はじめのお金のちがいと 同じです。だから、

$$\begin{array}{l} \text{はるきさんのはじめのお金} - \\ \text{ともみさんのはじめのお金} \\ = \text{のこりのお金のちがい} \end{array}$$

でもとめられます。のこりのお金は、はるきさんが、  
 $600 - 408 = 192$  (円)  
 多いです。



2人ののこりのお金をそれぞれもとめて、のこりのお金のちがいを計算してもいいね。

# 第2回

## 大きい数

### 答え

- ① (1) 二千七百九十一万六千五百四十三  
 (2) 八百二万四千五百一
- ② (1) 69342015 (2) 387200  
 (3) 490000 (4) 35401000
- ③ ㉞ 8000 ㉟ 43000
- ④ (1) 150 (2) 7000  
 (3) 42 (4) 830  
 (5) 999999 (6) 100000
- ⑤ (1) < (2) >
- ⑥ いちばん大きい数…9741000  
 いちばん小さい数…1000479

### 考え方

① 大きい数を読むときには、一の位から4つ目と5つ目の間で区切ると、わかりやすくなります。0のある位は読まないことに気をつけましょう。

$$(1) \quad 279 \text{ 万 } 6543 \quad (2) \quad 802 \text{ 万 } 4501$$



(2)は、十万の位と十の位が0だから、この位は読まないだね。

② 万のところで区切って考えます。あいている位には0を書きます。

(1) 六千九百三十四万二千十五  
 $6934 \text{ 万 } 2015$

(2) 三十八万七千二百  
 $38 \text{ 万 } 7200$

(3)  $10000$ を49こ→ $490000$

(4)  $1000$ 万を3こ、 $100$ 万を5こ、  
 $3000$ 万  $500$ 万

$10$ 万を4こ、 $1000$ を1こ  
 $40$ 万  $1000$

合わせると、 $3540$ 万  $1000 \rightarrow 35401000$

③ この数直線では  $10000$ を10こに等分しているのだから、1目もりの大きさは、 $1000$ です。

- ㉞ 0から8つ目の目もりだから、8000  
 ㉟  $40000$ から3つ目の目もりだから、43000

④ (1) ~ (4) 数を10倍すると、位が1つずつ上がり、100倍すると、位が2つずつ上がります。一の位が0の数を10でわると、位が1つずつ下がります。

(5)  $100$ より1小さい数が99、 $1000$ より1小さい数が999であるのと同じように考えて、 $1000000$ より1小さい数は、999999です。

(6)  $98$ より2大きい数が100、 $998$ より2大きい数が1000であるのと同じように考えて、 $99998$ より2大きい数は、 $100000$ です。

⑤ まず、けた数をかくにんしましょう。

(1) けた数はどちらも6けたなので、上の位からじゅんに数字の大きさをくらべます。

(2) けた数がちがうので、けた数が多いほうが大きい数です。

⑥ 7けたの数をつくることに注意<sup>ちゅうい</sup>しましょう。

上の位の数字が大きいほうが大きい数になるので、数字を大きいじゅんにならべて、いちばん大きい数をつくりま

す。0ではじまる数はないので、0の次に小さい1をいちばん上の位におきます。あとは、のこりの数字を小さいじゅんにならべて、いちばん小さい数をつくりま